



## ひかり健康保険組合からのお便り

お仕事おつかれさまです。

ひかり健康保険組合では、加入者皆様の健康維持・増進を目的とした保健事業を展開していきます。  
今回は、ジェネリック医薬品についてお届けいたします。

### 第73話:ジェネリック医薬品何でもQ&A



#### Q. 『ジェネリック医薬品』って何？

A. お医者さんで処方してもらうお薬には「先発医薬品（新薬）」と、  
同じ成分、同じ効果で価格の安い薬「ジェネリック医薬品（後発医薬品）」があります。

「新薬」として最初に発売された薬は特許に守られ、開発したメーカーが独占的にその薬を製造販売することができます。これが「先発医薬品」です。ところが20～25年の特許期間が切れると、他のメーカーも同じ成分、同じ効果のお薬を製造できるようになります。これが「ジェネリック医薬品（後発医薬品）」で、その価格は先発医薬品よりも安く設定されています。

#### Q. ジェネリック医薬品はなぜ安い？

A. 先発医薬品に比べて、開発時間や研究費などが少なく済むので安い価格が設定できます。

先発医薬品は、その成分から開発し、有効性、安全性を確認後承認されて発売されるため、研究に20～30年かかるといわれ、その費用も200～300億円と莫大です。

しかし、ジェネリック医薬品はすでに使われていて有効性も安全性も確かめられた成分ですから、承認までの手続きが少なくなります。開発や研究にかかる時間も金額も少ないので、国が先発医薬品より安い価格に設定しています。

#### Q. ジェネリック医薬品を使うメリットはあるの？

A. 薬代の負担が減るのはもちろん、医療費の抑制にもつながります。

患者さんの薬代の負担が減り、家庭での医療費の節約に役立ちます。

また慢性疾患では、薬代が高いからといって、通院や薬の服用をやめてしまう人も少なくありません。でも、お薬は飲み続けることが大切です。ジェネリック医薬品の使用により、正しい治療を無理なく続けられる環境が整います。そしてひいては高騰する医療費の抑制にもつながります。

Q. どうすれば処方してもらえるの？

A. まずは、かかりつけ医の先生か保険調剤薬局にご相談ください。

国の方針として採用がすすめられているジェネリック医薬品ですが、現在、どこの医療機関でも扱われているわけではありません。ジェネリック医薬品を使うには医師の処方が必要です。まずはかかりつけ医の先生か保険調剤薬局にご相談してみてください。

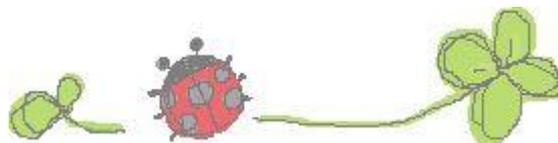


### ◆熟睡をクセにしよう(3)◆

Q. 寝る前に熱めのお風呂に入ると良い

A. ウソ

寝る前はぬるめのお湯(38度～40度くらい)にのんびりと長く入るのが良いです。新陳代謝を活発にし、リラックス効果も期待できます。熱い湯は逆に神経を高ぶらせてしまいます。お風呂は心地よい眠りのための導入効果大なのです。出来れば眠る1時間くらい前の入浴が理想☆入浴で暖められた体温がしだいに下がっていくのと、入眠時に体温が下がって眠くなるのが一緒になると深い眠りにつきやすいのです。入眠時は、起きているときより体温が約1度ほど下がります。



#### ■けんこう通信

ご家庭のパソコンへ、保健事業に関するお便りを配信しております。

ご希望の方は、登録のためメールアドレスを添えて[info@hikarikenpo.or.jp](mailto:info@hikarikenpo.or.jp)(当組合宛)までお気軽にメールください。

#### ■こころとからだの健康相談

健康に関わるお悩みのときは、「こころとからだの健康相談」

フリーダイヤル0120-835-839(はい参考、はいサンキュウ)を安心してご利用ください。

#### ■ひかり健康保険組合への

ご意見・ご要望は[info@hikarikenpo.or.jp](mailto:info@hikarikenpo.or.jp)までぜひお寄せください。

ひかり健康保険組合 <http://www.hikarikenpo.or.jp>

〒171-0022

東京都豊島区南池袋1丁目16番15号 光センタービル2F

tel: 03-5951-7422 fax: 03-5951-9663

